

# 南知多町学校規模適正化（学校統合）に関する意見交換会の概要

## 【篠島地区】

日 時 令和元年 11 月 11 日（月） 午後 7 時 00 分～午後 8 時 20 分  
場 所 篠島開発総合センター 集会室  
参加者 5 名（うち保護者 2 名）

### 1 あいさつ（教育長）

- ・学校の統合計画について、アンケート調査結果や今回の意見交換会でのご意見を参考に、来年度、適正化検討委員会を設置し、検討していく旨説明。

### 2 学校規模適正化に関するアンケート調査の結果説明（学校教育課長）

- ・児童生徒数の減少により、学校の小規模化が進行しており、学校規模の適正化に課題があること、教育委員会としては、小学校では、複式学級を解消するために 1 学年 1 学級以上、中学校では、全学年でクラス替えができ、学級を超えた集団活動ができるよう 1 学年 2 学級以上が必要と考えていること、そして、こうした考えに対し、将来を担う子どもたちの教育にとって最善の選択は何かについて、保護者や地域の皆さんのご意見を伺い、学校規模の適正化を図っていきたい旨、資料に基づき説明。
- ・アンケートの調査項目のうち、「小学校の統合の必要性」及び「中学校の統合の必要性」の質問に対する地区別の集計結果について、資料に基づき説明。

### 3 質疑応答

なし

### 4 意見交換会（主な意見）

<b>1. 小学校について</b>
<b>○現行のままでよい</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・統合は島としては、反対である。</li><li>・財政が厳しいのに、学校が 5 つあることは大変なのは分かるが、島から学校がなくなると寂れてきてしまう。</li><li>・町民でも船を使う事に、難儀している。船での通学は無理。年長の子どもを船に乗せて通学させられるかということ、無理である。</li><li>・体調不良になった時に、迎えに行くことができない。また、地震の時も不安がある。</li><li>・統合すると、部活動ができなくなる。時間的に難しくなる。</li></ul>
<b>○その他</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・小学校でも高学年と低学年の保護者の考え方は違うと思う。</li></ul>
<b>2. 中学校について</b>
<b>○現行のままでよい</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・現行のままでよい。学校を島に残してほしい。</li></ul>

- ・対人との人間関係は、関係が密の方が育つと思う。
- ・人間の力を付けていくためには、特に中学校を残すべき。篠島だから身に付いたことも多くある。
- ・1、2人になっても、篠島の学校にいたいのであれば、残すべき。複式学級になってもいいと思う。
- ・人数で統合は決めるべきではない。

#### ○その他

- ・島の子どもは、人間関係は都会の子どもに比べて弱いとは思うときもあるが、一方で、島の子どもの方が、力があると感じることもある。
- ・島の子どもの方が、友達との関係が強い。(障害のある友達とも一緒にしっかりと卒業している)
- ・子どもが島にいる方がメリットの方が多い。
- ・いじめも島で解決できる。
- ・漁師になる子どもが少なくなる。地域で育てていかないといけない。
- ・震災に対する対処が必要である。
- ・学校存続は、1人でもいればできる。佐久島では、よそから子どもが来ている。

#### 3. その他

- ・統合についての今後のスケジュールはどうなっていくのか。
- ・陸とインターネットなどでつなぐ授業もできるのではないか。

## 5 閉会（教育長）